

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
毎月最終例会 18:00
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 和田正敏
幹事 田部井良和
会報・雑誌委員長 宮尾紘司

No. 11

ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続

ROTARY 2000：ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

1999～2000年度 RI会長 カルロ・ラビッツァ

きょうの例会

第822回 平成11年10月5日(火)

卓話

“トルコの地震災害の見舞いに行つて”

会員 加藤 重雄君

“百貨店の課題と今後の方向性”

会員 小林 俊幸君

先週の記録

第821回 平成11年9月28日(火)

晴

ガバナー公式訪問

パートナークラブ 名古屋名東RC

名古屋国際ホテルにて 12:30～

◆“手に手つないで”

◆出席報告

会員 70(67)名 出席 51名

出席率 76.12%

前々回 9月14日(修正出席率) 100%

◆ビジター紹介

第2760地区ガバナー 野村 重彦君

東名古屋分区ガバナー補佐 坂本 精志君

地区幹事 内藤 耕造君

地区ライラ委員会 副委員長 加藤 鈴幸君

“ 委 員 金子 利夫君

“ ” 横山 邦晴君

“ ” 中根 啓弐君

“ ” 林 正彦君

◆ビジター数 33名

ニコボックス

第2760地区ガバナー 野村 重彦君

地区幹事 内藤 耕造君

本日はガバナー公式訪問にお邪魔致しました。

東名古屋分区ガバナー補佐 坂本 精志君

ガバナー公式訪問に同行して

和合RC 相羽 鎧一君 例会にお邪魔いたします。

知立RC 金子 利夫君 例会にお邪魔いたします。

足立 一成君、秋山 茂則君、浅井 誠寿君、林 哲央君、伊原 正躬君、池森 由幸君、神崎 住恵さん、加藤 大豊君、河村 政孝君、菊池 昭元君、小林 明君、小林 俊幸君、小杉 啓彰君、小山 雅弘君、小坂井盛雄君、久保田 皓君、黒野 貞夫君、黒須 アイ子さん、宮尾 紘司君、水野 民也君、水野 賀績君、本山 孝君、中山 信夫君、成田 良治君、大谷 和雄君、佐久間良治君、佐野 寛君、鈴木 理之君、竹内 眞三君、舎人 経昭君、鷺野 義明君、山田 壽勝君、吉田 節美君 野村ガバナーをお迎えして加藤 重雄君 誕生日祝い
二村 聡君、西野 英樹君 結婚記念日祝い
笹野 義春君 夫人誕生日祝い。結婚記念日祝い。

田部井幹事報告

1. 次回例会終了後、ライラ分科会を開催致しますので、担当者はお残り下さい。

名古屋千種RC 和田正敏会長挨拶

本日は野村ガバナー公式訪問を名東ロータリークラブの皆様のお力により合同で開催していただけた事に我々一同感謝申し上げます。

野村ガバナー方針R I第2760地区テーマは「語り合おう。そして見つめ直そうロータリーのロマンを！」～新しい世紀の礎を築くために～となっている。

我々千種ロータリークラブは「温故知新」をテーマにしました。なぜならば、未来のことを考えるには、先輩達のご苦労とそしてここまで為し遂げてみえた努力を正しく受け継ぐことが大切だと考えたからです。いここにあたる名東ロータリーの大先輩の方々よろしくお願ひします。

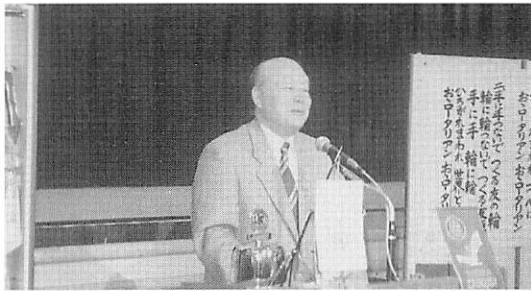
ロータリーの9月は新世代のための月間です。野村ガバナーはガバナー方針の中でテーマを4つの目的にわけ、第二に「新世代に指針を」を掲げられ、「21世紀を担う若者達に、あるべき姿を示すことが私達の責務だと思います。」と述べられています。

今回我々はライラセミナーの担当クラブです。このセミナーはガバナーが大変、力を入れてみえると聞きます。ライラセミナーのメインテーマとサブテーマは

「地域社会とわたし～わたしのできる環境保全・わたしのできるボランティア～」としました。このテーマはガバナー方針目的の第一と第三に共通すると考えています。

我々ロータリアンはジェントルマンになるための修行をしている。と坂本ガバナー補佐が述べられています。新世代の人達のことを考える時、我々大人達も襟を正して素直な気持ちで進んでいきたいと思えます。

第2760地区 野村重彦ガバナー挨拶



みなさま、こんにちは。

本日は早や21年の歴史を刻む名東RCと17年の歴史を持つ千種RCに訪問させて頂き、大変光栄に存じますのであります。又こうして会場を見渡してみますと地区の大先輩のロータリアンがずらりとお顔を揃えていらっしゃる、元気なお姿を拝見し、大変嬉しく思います。

さて本日の例会はご承知の通り、地区リーダーシッププランに基づく公式訪問で、この組み合わせは昨年同様ですが、それぞれ各クラブの多年にわたる地区へのご貢献とご奉仕の数々は枚挙にいとまがないわけで、日頃のご活動に心から敬意を表するものであります。

又、特にロータリー財団、米山奨学会へのご後援は地区内で飛びぬけたご貢献で深く感謝するものでございます。

今回のような公式訪問は、ガバナー補佐のお力を借り、地区リーダーシッププランに基づき、本日で約42クラブまわり、ようやく山を越え、麓が見えてきたかという感じですが、各クラブにお邪魔しそれぞれのご方針を伺い、又新しい友情を感じずばらしい体験を積み重ねているわけで、私にとりましても人生の中で二度と経験の出来ないような体験に感謝するものでございます。

リーダーシッププランは、97年度犬飼パストガバナーが世界のトップをきって採用され、当時我が国では4地区しかこの制度を採り入れていませんでした。近年ガバナーの仕事が繁雑になってきて地区内のこうした訪問だけで年度の半分もかかってしまい、本来ガバナーに課せられた責務が果たせないという状況に、ガバナー補佐と協同して地区の運営を進めるこのような制度の採り入れで今日の懇談会に於いても、坂本ガバナー補佐より十分な報告を頂いているおかげで、大変円滑に進めることが出来ました。このリーダーシッププランは全世界で約50%実施されており、我が国は約45%、当初、犬飼ガバナーのときは4地区だけでしたが、内藤ガバナー年度には8地区、当年度で5地区増え、来年はさらに5地区増える予定です。現在、日本は34%

の実施率で、米国・カナダで75%、多いのはラテンアメリカの約80%と今後だんだん増えていくべきシステムだろうと思っております。

本年度国際ロータリー会長、カルロ・ラビッツア氏はイタリア出身で、RIテーマとして「ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続」を掲げており、まもなく迎える新世紀にロータリーの奉仕活動が更に活力を持って発展し成功する為に、ロータリアンとして守らなくてはいけない原則としてこれを掲げました。そして、ロータリークラブそのものに大変問題点が出てきていることを指摘されました。

まずロータリークラブの指導者と、草の根レベルの会員との間に、ギャップ・乖離が生じている。指導層というのは、RIあるいは各地区またはローカルにもあるわけですが、草の根レベルの会員の間に、いろいろ意識的なギャップが生じていると言っています。

ロータリーの基本ルールに忠実でないロータリアンが増加してその結果、組織に対する信頼が低下し、結局、会員の退会・例会出席率の低迷といった問題が出てきました。

このほか、ロータリー財団に対する寄与率の低下、私どもで申しますと米山に対する寄与率の低下、またロータリー財団あるいは米山奨学会の実施する奉仕プログラムに参加し、それを実践する協力をしない、といった状況であります。

奉仕の理想を受け入れてロータリアンになったはずであるのに、奉仕の理想の実践を怠っていると、いったことがあげられます。

会員の減少についても1990年代に入ってから、既存クラブの会員減少が目立ってまいりました。今まではクラブの新設・拡大によって補ってききましたが、1996-97年度にはクラブの拡大ではカバーしきれなくなってきました。

会員の減少が不景気だから仕方がないとか、こんな時期に会員増強なんて不謹慎だといった声もございませぬ。しかし会員の減少はロータリークラブだけに起こっている問題ではありません。ほかの奉仕団体では顕著な会員の減少傾向がみられています。

名東RCには地区会員増強委員長の小川さんが熱心にこの問題に取り組んで頂いており、過日の地区内会員増強委員長会議でも激を飛ばして頂きましたが、今のこの時代をよく見すえて、ロータリーが21世紀においても更に奉仕が続けられるような、意欲あふれるロータリアンの集合体として再構築しようではないかとお願いしている次第です。先程の懇談会でも話が出ましたが、ただ単に増強するのではなく、退会を防止する為には、魅力あふれる親睦間の満ちている楽しいクラブライフが望まれます。坂本ガバナー補佐とも新人会員には推薦者だけでなくもう1人か2人がそのフレッシュマンについて会に同化して頂くまで十分にお世話して頂きたいと話しておりました。

ここ10年の間に、ロータリークラブで大きく変わったことがございます。1986年にプログラムが始まりましたポリオプラス。ポリオ撲滅に情熱を傾けた結果、

2005年のロータリー100年には撲滅宣言することができると言われています。

これまで人類がこの地球上から撲滅することができたのは天ねん痘しかないので、ロータリアンの多年のご貢献により、大変恐く悲惨なポリオという感染症を撲滅することが出来たということは大きな奉仕であると思います。

また、女性会員の入会です。かつてロータリーは女性に対して固く門戸を閉ざしておりました。1978年に裁判沙汰になり、1989年のR I 定款細則の中から「クラブ会員は男性に限る」という項目が削除されました。

現在、全世界で約7%、82,000名の女性会員がいます。昨年、女性ガバナーが20名いたという話をご存じかと思いますが、今年、私がアナハイムに参りまして聞いたところでは、23名の女性ガバナーが今年度はいらっしゃるとのことでした。アナハイムの国際協議会に出ますと、午前中は本会議でしぼられます。指定席ですので8時頃からS A Aが目光らせていて、着席していないと部屋に電話がかかってきます。最初に私の左隣に座った方はパリの女性ガバナーでした。一度席順が入れ替わりまして、その時は第6580地区、アメリカの女性ガバナーの隣でした。とても明るく、美人で、大きな声で歌を歌うチャーミングな女性でした。

我が国は、まだまだ女性が少なく2,000名と言われています。西高東低で関西方面に多く、大阪地区で百数十名いらっしゃいます。曾根崎RCは64名のうち48名が女性だそうです。その他、東京の恵比寿RCは今年の会長が、女優の司葉子さんですので、本年度中にメイクアップされてはどうでしょうか。

さて、今年はアメリカオハイオ6600地区とG.S.E. (研修グループ交換)を実施いたします。来年3月にはアメリカから青年を受け入れ、研修を積んでいただきます。皆様方是非あたたかく迎えていただきたいと思ひます。

3月7日は坂本ガバナー補佐主催のIMもあり、同じ月の25日、26日にはライラセミナーが開催されます。全クラブ参加でき、ロータリアンと新世代の人達がひざをつき合わせて交流を行なうことは新世代の育成にも効果的であると同時に参加するロータリアンも刺激を大いに受けるプログラムですから、多くの参加をお願ひ致します。

2001年には規定審議会が開催され、ロータリーのルールを見直す機会となります。何かご提案がありましたら、2000年6月30日が立法案の提出期限です。

R.I.会長テーマを踏まえて私は「語り合おう、そして見つめ直そうロータリーのロマンを！～新しい世紀の礎を築くために～」を提示しております。ロータリーの百年にわたる壮大なロマンをもう一度見直し、新世紀においてロータリーがさらに発展し、全世界に奉仕の輪を広げることができるよう願っております。

今後とも素晴らしい奉仕にご貢献下さいますことをお願いし、両クラブのロータリアンの皆様方のご健勝を心から祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

名古屋名東RC 村橋泰志会長挨拶

本日は、野村重彦ガバナーをお迎えして、第821回名古屋千種RCと第1043回名古屋名東RCの合同例会を開催することができました。

ガバナーからは、例会の卓話の中で「語り合おう。そして見つめ直そう。ロータリーのロマンを！」という地区テーマのもとに、本年度の運営方針について、具体的に分かり易く重要なポイントをアドバイスして頂きました。

また、例会に先立ち、会長と幹事に対しても別途様々な御指導を下さいました。

私共は、ガバナーがロータリーのロマンにかけておられる情熱を親しくお聴かせ頂き、深い感銘を受けました。

千種ロータリークラブは、意欲的で活力のあるクラブでありますから、必ずや、ガバナーの御期待に十分応えるだけの実績をあげられることと存じます。

名東ロータリークラブと致しましても、極力努力を重ねたいと思ひます。

まず、私共のクラブは、本年度のIMのホストクラブでございますので、その責任を果たすのが、最重要課題であります。

ガバナーは「環境保全に貢献を」と呼びかけておられますので、ゴミ処理問題を中心とした環境問題をテーマに取り上げる予定であります。

次に、ガバナー賞の問題ですが、実は、IMのホストをつとめる重責がありますので、ガバナー賞への挑戦は御遠慮申し上げようと考えておりました。

しかし、社会的弱者への奉仕を訴えておられるガバナーの熱い心に感動し、再度ガバナー賞への挑戦を検討したいと考えるに至りました。

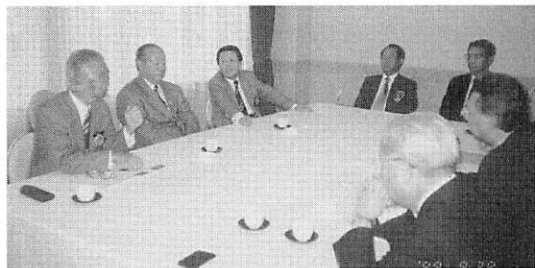
さらに、会員増強については当クラブは昨年大幅な減少を余儀なくされました。本年度は、失地回復を目指し、努力を致しておりますが、かなりの成果が上がりつつあり、何とか80数名の規模に戻したいと思っております。

最期になりましたが、野村ガバナーに今後も引き続いて色々御指導頂きますようお願い申し上げますと共に、ガバナーの一層の御健勝をお祈り申し上げまして、私共の謝辞と致します。



真剣に話を聞く会長、幹事

11:00~12:00



野村ガバナー、坂本ガバナー補佐、内藤地区幹事のご出席のもと、会長、幹事、副会長、会長エレクト、副幹事による懇談会が行われました。

地区ライラ合同委員会

(第3回ライラ実行委員会)

9/28(火) 13:40~15:00

国際ホテル 若葉の間

例会終了後、野村ガバナーに引き続きご臨席頂き、地区ライラ合同委員会を開催。中山地区ライラ実行委員長より、第8回ライラセミナーの概要、参加要項、日程等の説明の後、前年度実行委員長の林地区ライラ委員から、経験談を交えた助言を頂き、又ガバナーからも「新世代にとっても忘れない思い出となるセミナー」にして頂きたいとのお言葉を受けました。



出席者

ガバナー	野村重彦	ライラ実行委員長	大谷和雄
地区ライラ実行委員長	中山信夫	副委員長(総務部会)	小山雅弘
副委員長	加藤鈴幸	実行委員	二村 聡、伊豫田博明
委員	金子利夫		萩原喜代子、小杉啓彰
〃	横山邦晴		宮尾絃司、水谷祥督
〃	中根啓弐		西野英樹、佐久間良治
〃	林 正彦		鷺谷龍男、鈴木理之
ライラホストクラブ会長	和田正敏		谷口 優、舎人経昭
〃 幹事	田部井良和		

事業所住所変更のお知らせ

会 員 青山 敏郎
事業所住所 〒464-0848
千種区春岡 1-2-4 ラポール池下2F
(TEL、FAXは変更ありません。)

地区大会開催間近

(ホストクラブ 犬山RC)

10/16(土) 大会第1日目 会場：名鉄犬山ホテル

10:00 地区諮問委員会
11:30 R.I.会長代理を囲む食事会
12:00 本会議登録受付 (出席義務者参加)
13:00 点鐘
14:00 ロータリーミーティング
16:45 点鐘
18:00 R.I.会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

10/17(日) 大会第2日目 会場：犬山市民文化会館

9:00 本会議登録受付
10:00 点鐘 本会議第1部
11:45 昼食
13:10 本会議第2部
13:50 感謝状贈呈並びに表彰
14:30 記念講演 ～世界から見た日本人～
講師 岸 恵子氏

16:00 講評

16:30 点鐘

家族の集いプログラム

時間：11:00~14:00 場所：博物館 明治村

10/18(月) 記念ゴルフ大会 会場：犬山カントリー倶楽部

7:30 登録受付
8:00 アウト・イン同時スタート
(18ホールズストロークプレー ダブルペリア方式)
16:00 パーティ及び表彰式
17:00 閉会

◎特別出席者

ライラ委員会 委員長	中山 信夫
青少年交換委員会 副委員長	大谷 和雄

◎出席義務者

会 長	和田 正敏
会長エレクト	尾関 武弘
幹 事	田部井良和
クラブ奉仕委員長	秋山 茂則
職業奉仕委員長	青山 敏郎
社会奉仕委員長	佐久間良治
国際奉仕委員長	松島 孝彰
ロータリー情報委員長	吉田 節美
新世代委員長	吉田 玄

◎入会3年未満 出席義務者

伊原 正躬、池森 由幸、神崎 住恵、加藤 重雄、小林 俊幸

◎その他の出席者

石黒 正則、小坂井盛雄、宮尾 絃司、大口 弘和、鷺谷 龍男、魚津 常義、山田 壽勝、池森 伸江

◆次回例会 (10月12日)

優良従業員表彰

“日本に来て”

米山留学生 ウディン エムディ ザイール君